令和3（2021）年度博士前期課程（外国人留学生選抜）問題　目次


| 専門試験 | | ページ |
|---|---|---|
| 文化形態論 | 哲学哲学史 | 2 |
| | 現代思想文化学 | — |
| | 臨床哲学 | 3 |
| | 中国哲学 | — |
| | インド学・仏教学 | — |
| | 日本学 | 4～5 |
| | 日本史学 | 6 |
| | 東洋史学 | 7～8 |
| | 西洋史学 | 9～10 |
| | 考古学 | — |
| | 人文地理学 | 11～12 |
| 文化表現論 | 日本文学 | 13～16 |
| | 比較文学 | 17～19 |
| | 中国文学 | — |
| | 英米文学 | 20～22 |
| | ドイツ文学 | — |
| | フランス文学 | — |
| | 国語学 | 23～26 |
| | 日本語学 | 27 |
| | 英語学 | 28～29 |
| | 美学 | 30 |
| | 文芸学 | 31 |
| | 音楽学 | 32～34 |
| | 演劇学 | 35～36 |
| | 日本・東洋美術史 | — |
| | 西洋美術史 | 37 |

令和3（2021）年度
大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／外国人留学生選抜）入学者選抜試験問題
文化形態論専攻　哲学哲学史専門分野　専門試験

［　問題用紙は１枚です。］

（　1枚目／1枚中　）

| |
|---|
| 注意　①解答はすべて所定の解答用紙に記入すること<br>②問題用紙は持ち帰ること |

Ⅰ　以下の英語文全文を日本語に訳しなさい。

The individual experiences himself as such, not directly, but only indirectly, from the particular standpoints of other individual members of the same social group, or from the generalized standpoint of the social group as a whole to which he belongs. For he enters his own experience as a self or individual, not directly or immediately, not by becoming a subject to himself, but only in so far as he first becomes an object to himself just as other individuals are objects to him or in his experience; and he becomes an object to himself only by taking the attitudes of other individuals toward himself within a social environment or context of experience and behavior in which both he and they are involved.

The importance of what we term "communication" lies in the fact that it provides a form of behavior in which the organism or the individual may become an object to himself.

(George H. Mead, *Mind, Self & Society*, Eighth Impression, The University of Chicago Press, 1950, p. 138, ll. 22 - 36.)

Ⅱ　以下の語句の中から、２項目を選択し、その番号を記した上、日本語で３行程度で解説しなさい。

1　トートロジー
2　可能態と現実態
3　生得観念
4　超人
5　固定指示子

Ⅲ　「悪」について、日本語で論じなさい。

令和３（２０２１）年度

大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／外国人留学生選抜）入学者選抜試験問題
文化形態論専攻　臨床哲学専門分野　専門試験

［問題用紙１枚、添付資料が２枚です］
（１枚目／３枚中）

問題１　添付資料Ａは、現代における「安楽死・尊厳死・自殺幇助」の問題を扱った論文の一部である。この論文で、著者は「本人の意思に基づいて行われる「理性的自殺」の合法化」に対して、いくつかの事例を紹介しながら、その問題点を指摘している。資料を読み、「自己決定による幇助された死」の問題とは何かを書きなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。
大谷いづみ「「理性的自殺」がとりこぼすもの」、『現代思想』2013 年 5 月号、162 頁～177 頁（出題部分：170 頁上段 16 行～171 頁下段 13 行）

問題２　添付資料Ｂは、ケアの倫理と教育に関して現代に大きな影響を与え続けているアメリカの哲学者 Nel Noddings の著書の Introduction の一部である。そこで著者は、私たちの道徳的生活の基礎を「家庭 home」におけるケアと考え、それを出発点にして「社会政策 social policy」に関する議論を展開しようと試みる。資料を読み、①著者が論じようとしている論点（複数）を列挙したうえで、②その論点の一つを選び、あなたの考えを自由に論じなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。
Nel Noddings, "Starting at home: caring and social policy", University of California Press, 2002, Introduction: Starting at Home, pp. 1-7.（出題部分：2 頁 4 行～3 頁 21 行）

令和３（２０２１）年度
大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／外国人留学生選抜）入学者選抜試験問題
文化形態論専攻　日本学専門分野　専門試験

［問題用紙は２枚です。］
（1 枚目／2 枚中）

〔Ⅰ〕次の項目から、３項目を選んで説明しなさい。

(1) 寛政異学の禁　(2) 治安維持法　(3) 日本資本主義論争

(4) 戦陣訓　(5) 民衆史　(6) ロマンチック・ラブ・イデオロギー

(7) ニュータウン　(8) ウチナーグチ　(9) 荒木経惟

(10) 異装

〔Ⅱ〕次の５問のうちの１つを選んで答えなさい。

(1)「名前とアイデンティティ」をめぐって生じるさまざまな問題について、視点を設定して具体的に論じなさい。

(2) 近世日本の古学派の学者の著作を取り上げ、その意義について論じなさい。

(3) 日本における「戦争体験の継承」について、具体的な事例を挙げながら論じなさい。

(4) 近代日本の「人口問題」について、時期区分をしながらできるだけ詳しく論じなさい。

(5)「国家の表象」に関する文化物、あるいは文化的事象について具体的な事例を挙げながら論じなさい。

〔Ⅲ〕次の文章は、Anne Allison, *Precarious Japan* (Duke University Press, 2013) の一節（22 頁 5 行目～36 行目）である。これを読んで、次の問いに日本語で答えなさい。

1. 下線部①を日本語に訳しなさい。

2. 下線部②の“my-home-ism”について、本文の記述を踏まえて説明しなさい。

3. 戦後日本における大量消費社会の成立に伴ってどのような変化が起こったか、具体的な事例を挙げながら論じなさい。

※問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は上記のとおりです。

令和三（二〇二一）年度
大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／外国人留学生選抜）入学者選抜試験問題
文化形態論専攻　日本史学専門分野　専門試験

【注意】問題用紙は全部で一枚です。解答用紙は、横書き・縦書きのどちらで書いていただいても構いません。

（Ⅰ）古代渡来人に関する研究の現状と課題について詳しく論じなさい。

（Ⅱ）次の歴史的名辞（1）～（12）のうち六つを選び、説明しなさい。

（1）邪馬台国　（2）広開土王碑（好太王碑）　（3）大化改新　（4）租庸調
（5）国分寺　（6）坂上田村麻呂　（7）令義解　（8）国風文化
（9）摂関政治　（10）南北朝内乱　（11）天保の改革　（12）士族反乱

令和３（2021）年度
大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／外国人留学生選抜・春期試験）入学者選抜
試験問題
文化形態論専攻　東洋史学専門分野　　専門試験

［問題用紙は２枚です。Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳについて，それぞれ別の解答用紙を使用してください。］
（１枚目/2 枚中）

## Ⅰ　英語問題

次の文章を日本語に訳しなさい。なお，文中の注番号については無視すること。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです

【C. Benedict, *Golden-Silk Smoke*, Berkley and Los Angeles: University of California Press, 2011, p. 88, ll. 1-11】

## Ⅱ　論述問題

次の２問から１問を選び，解答しなさい。

1.　疫病と歴史のかかわりについて，特定の時期と地域を選び，「気候変動」「人の移動」「人口」「都市化」「近代国家」などの論点と組みあわせたうえで，論述しなさい。

2.　トルコ系遊牧民がユーラシア世界史で果たした役割について，ユーラシア各地の言語や宗教との関係にも触れつつ，通時代的に論述しなさい。

## Ⅲ　漢文問題

次の漢文は，清の顧炎武が著述した『日知録』巻 22・郡縣（部分）および秦始皇未滅二國です。これを読んで，下の問いに答えなさい。なお，一部の箇所では標点を省略しています。

秦始皇議封建，實無其本。假使淳于越之言，而行封建，其所封者不過如①穰侯、徑陽、華陽、高陵君之屬而已，豈有建國長世之理。

秦始皇未滅②二國　古封建之國其未盡滅於秦始皇者，衛世家言，二世元年，廢衛君角爲庶人。是始皇時衛未嘗亡也。越世家言，越以此散，諸族子爭立，或爲王，或爲君，③濱於江南海上服朝於楚。秦始皇本紀言，二十五年，王翦遂定荆江南地，降越君。漢興，有東海王摇、閩越王無諸之屬，是越未嘗亡也。西南夷傳又言，秦滅諸侯，唯楚苗裔尚有滇王。④然則謂秦滅五等而立郡縣亦舉其大勢然耳。

【語註】

* 淳于越：秦代の儒者。封建の実施を主張し，焚書坑儒の契機となったことで有名。
* 無諸：騶無諸。越王の末裔とされる。
* 五等：周代の爵制。

問 1　傍線部①を日本語訳しなさい。
問 2　傍線部②の「二国」とはどことどこか，答えなさい。
問 3　傍線部③を日本語訳しなさい。
問 4　傍線部④を日本語訳しなさい。

## Ⅳ　基礎事項問題

次の(a)～(e)の事項について知るところを，それぞれ 2 行程度で簡潔に述べなさい。

（a）改土帰流　　（b）両税法　　（c）『四庫全書』
（d）マニ教　　（e）フレグ（フラグ，Hulegü，旭烈）

令和３（２０２１）年度
大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／外国人留学生選抜）入学者選抜試験問題
文化形態論専攻 西洋史学専門分野 専門試験 筆記試験
［問題用紙は２枚です。］

注意 解答は、別紙解答用紙に問題番号を書いてから記入しなさい。また、各問題の枝問の記号や番号も記すこと。

設問１．人の大規模な移動と植民地の建設について、古代・中世の事例と、近世・近代以降の事例をそれぞれ一つずつ具体的に挙げ、両者の特徴を共通点と相違点を示しながら論述せよ。

設問２．下記の英文は、Robert Bartlett, *The Making of Europe: Conquest, Colonization and Cultural Change 950-1350*, Penguin Press, 1993, pp. 1-3 の一部である。以下の問いに答えよ。

（１）下線部①の「内的なダイナミズム」が「外的または領土的拡大主義に呼応する」の具体的な内容を、本文での内容を参考にしながら説明せよ。

（２）②の個所を、日本語に訳しなさい。

本文は、著作権の関係で省略

令和３（２０２１）年度

大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／外国人留学生選抜）入学者選抜試験問題

文化形態論専攻　人文地理学専門分野　専門試験

［ 問題用紙は２枚です。 ］

（１枚目/２枚中）

（中辞典程度の英語辞書の持ち込みを可とします）

以下の問い（問１～問３）に答えなさい。解答は、解答用紙に記入すること。

問１

次の (a) ～ (i) は、地理学に関連する理論や概念、または地理学者名を挙げたものである。これらの中から**２つを選んで**解説しなさい。なお、選んだ項目のアルファベットを明記すること。

(a) P.ハゲット　(b) ワラス線　(c) 対事業所サービス業
(d) オルソ化　(e) 時空間プリズム　(f) ゲーテッド・コミュニティ
(g) サゴヤシ　(h) BPO 産業　(i) 熱帯林減少

問２

次の (a) ～ (d) の問いの中から１つを選んで解答しなさい。なお、選んだ項目のアルファベットを明記すること。

(a) 環境適応と環境への文化的適応について説明しなさい。
(b) 20 世紀の地理学における都市研究のテーマの変遷について説明しなさい。
(c) 近代以降の日本の地図製作の歴史について説明しなさい。
(d) 日本の都市におけるジェンダーと時間的制約の問題について説明しなさい。

問３

つぎの英文を読んで、下の問い(問ア・問イ)に答えなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

― Robbins, A.S.T. and Harrell, S. (2014) "Paradoxes and challenges for China's forests in the reform era", *The China Quarterly* 218: 381-403 より一部抜粋・改変（引用箇所は 381 ページの Abstract 全文）。うち下線部(a)は１～７行目、下線部(b)は８行目。

問ア

下線部(a)を日本語に訳しなさい。

問イ

下線部(b)の内容を説明しなさい。

令和三（二〇二一）年度

大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／外国人留学生選抜）入学者選抜試験問題

文化表現論専攻　日本文学専門分野　筆記試験

［問題用紙は四枚です。］

（一枚目／四枚中）

一　次の文章を読み、後の問い（問一～問五）に答えなさい。（この問題について解答用紙一枚を用い、縦書きにすること）

伊勢・源氏などの物語は、文章こそめでたけれ、（A）記せることがらはあとなしごとにて、あさましきふしさくまじり、史学にたすけ少なきを、この栄華物語は、文章のめでたさが上に、その世にありし事実をそのままに記して、読むにはばかるがごときふしも、をさをさなければ、これぞ国文教科書にはいとよき文なりける。さるを、（B）いままで世に行はれたるは、文字のあやまれる、落ちたるなども多く、また、さもある注釈の書もなくて、巻の数さくあまたなりければ、（C）うひまなびの人々読みときかねて、さしおきがちなるを、小中村・関根の両氏、あかぬことに思ひ、こたび、この書の中のことにすぐれしふしふしをぬきいでて、（D）ねむごろに注釈の言葉をさくくはへ、教科書のまうけとはせられたり。かくてこそ、この文のめでたさも、ひとしほまさりて見ゆれ。読み見む人々、かたくには文章をあらはひ、かたくには歴史を知りて、いはゆる（E）一挙両得の益あるべしと、よろこび思ふままを、かくなむ。

明治二十三年十二月のはじめ

藤舎のあるじ正風しるす

（小中村義象・関根正直標注『標注栄花物語抄』序による）

問一　傍線部（A）を現代語訳しなさい。

問二　傍線部（B）はどのようなことを述べているのか、説明しなさい。

問三　傍線部（C）「うひまなびの人々」とはどのような人々か、説明しなさい。

問四　傍線部（D）を現代語訳しなさい。

問五　傍線部（E）について、「一挙両得の益」とはどのようなことか、説明しなさい。

また、この文章に示されている考え方について、あなたの考えを述べなさい。

（二枚目／四枚中）

三　次に載せるものは、江戸語・東京語を地方出身者が習い覚えることについて述べたものであるが、これらを読んで後の問いに答えなさい。（原文の表記を一部改めてある）

（この問題について解答用紙一枚を用い、縦書きにすること）

①京都の女中の詞を真似てしるし度ことなれども、江戸の乙女にはみやすからず。また真大坂の娘御方には、その詞の似せ損ないたるをよみづらしわらひ給はん。近来僕が綴りし人情本にて、当世の江戸詞を諸国の娘御達も大方は読み覚えたまひし由なれば、拙なき筆に他国の方言をしるさず。

為永春水「処女七夕」第四章（一八三六）

②元来此少女の語は田舎語が其性質です、然し東京を慕って居る心は其語をも慕ひます、ですから東京の人に対すると自然東京語で話そうとします。但しお系の心の中で東京語の雛形となるものは教師某の語です、其故此少女の語は田舎娘と自然に違って番り間よくはありません、

嵯峨の屋御室「浮世の夢」（一八八九）

③「大石さんにお目に掛りたいのだが。」

田舎から出て来た紀一は、小説で読み覚えた東京詞を使うのである。丁度不慣な外国語を使ふやうに、一語一語考へて見て口に出すのである。そして此返事の無難に出来たのが、心中で嬉しかつた。

森鷗外「青年」巻（一九一〇）

④眺望のあまり、その本州北端の一小都会に着いたとたんに少年の言葉つきまで一変してしまつてゐたほどでした。かねて少年雑誌で習ひ覚えてゐつた東京弁を使ひました。

太宰治「津軽」序編（一九四四）

問一　右のうち③は東京が舞台であるが、江戸・東京ではない場所でも江戸語・東京語が使われるようになったのにはどのような経緯があったのか、知るところを述べなさい。

問二　小説等の創作物に使われる言語と共通語・標準語の関係について、歴史的経緯を中心に知るところを述べなさい。

問三　日本語の共通語・標準語の成立の過程について、右の資料にも適宜言及しながら、知るところを述べなさい。

三　次の文章は島崎藤村の小説『朝飯』（『緑葉集』〈春陽堂、一九〇七〉所収）の全文です。これを読んで後の問いに答えなさい。

《引用は『藤村全集　第二巻』（筑摩書房、一九六六）三六九～三七三頁》
（三枚目／四枚中）

復た五月が来た。測候所の技手なぞして居るものは誰しも同じ思であらうが、殊に自分はこの五月を惜しがた く思ふ。其日々々の勤務――氣壓を調べるとか、風力を計るとか、雲形を觀察するとか、または東京の氣象臺へ宛て、報告を作るとか、そんな仕事に追はれて、忘れ勝ちに月日を送るといふ境涯でも、あの蛙が故郷をそゝるやうに啼出す頃になると、妙に寂しい思想を起す。あゝ、旅人――斯う五月は自分に啟くのである。

いろ〳〵なことを懷出すのはこの月だ。

ある日のことであつた。丁度自分の休暇に當つたので、事務の引繼を當番の同僚に頼むつもりで、書いて置いた氣壓の表を念の爲に讀んで見た。天氣、晴。氣溫、上昇。雲形、層、層積、積層、卷積。よし。それで自分は小高い山の上にある長野の測候所を出た。善光寺から七八町、例の借置く詣つて見ると、初夏の光は柳の若葉を通して、北向の縁側を明るく照らして居た。向ふの質屋の壁は白く日をうけた。庫の内も今は春木の盛た時で、柱に佇んで眺めると、新綠の香に壓されるやうな心地がする。熱い空氣に蒸される林檎の可愛らしい花、その周圍を飛ぶ蜜蜂の樂しい羽音、すべて、見るもの聞くものは同想のなかだちであつたのである。其時自分は眼を細くして幾度となく深呼吸の息を吹いて、寂しいとも心細いとも名のつけやうのない――まあ病人のやうに頭い氣分になつた。半生の間の嬉しいも哀しいが胸の中に浮んで來た。あの長い漂泊の苦痛を考へると、よく自分のやうなものが斯うして今日まで生きながらへて來たと思はれる位。感謝――といふより外に自分の生涯を顧みる言葉は見當らない。それがこの山の上の淋く淵び寂いて、世離れた測候所の技手をして、雪の形を眺め暮す身になつたとは、實に自分ながら思ひもよらぬ變遷なのである。

斯う思ひ耽つて居ると、誰か表の方で呼ぶやうな聲がする。何の氣なしに自分は出て見た。

旅姿窶れのした書生體の男が自分の前に立つた。片隅へ身を寄せて、上り框のところへ手をつき乍ら、何か低い聲で物を言出した時は、自分は直にその男の用事を看て取つた。聞いて見ると、越後の方から出て來たもので、郷にある親戚をたよりに尋ねて行くといふ。はるゝの長旅、こゝまでは辿り着いたが、途中で煩つた爲に限りある路費を費し盡して了つた。道は遠し、懷中には一文も無し、足は斯の通り腫れて歩行も自由には出來かねる。情があらば助力して呉れ。頼む。斯う眞摯を顔にあらはして懇願するのであつた。

『誠は――まだ朝飯も食べませんやうな次第で。』

とその男は阪加して言つた。

この『朝飯も食べません』が自分の心を動かした。額をあげて呉れやうな目付をしたその男の有樣は、と見ると、蒼黑の剃に頭の大な、下顎の圓く長い、何となく人の好さうな人物。日に焼けて、茶色になつて、汗すこし流れた美髯を飾い額の上には、たしかに落魄といふ烙印が押しあてゝあつた。悲しい追憶の情は、其時、自分の胸を突いて湧き上つて來た。自分も矢張その男と同じやうに、鐵と愛とで辱くたことを思出した。目的もなく彷徨ひ歩いたことを思出した。郷を忘れて人の家の門に立つた時は、思はず涙が頬をつたつて流れたことを思出した。

『まあ君、そこへ腰掛けたまへ。』

と自分は朝飯を飯い調子で言つた。男は自分の思惑を怪るかして、妙な顔して、たゝもう惟然と跪く乍ら立つて居る。

『何しろ貴は何因りでもう。』と自分は言葉をつゞけた。『僕の家では、君、斯ういふ規則にして居る。何かしら意て來ない人には、決して物を上げないといふことにして居る。だつて君、左樣ぢやないか。僕だつて勝手には生きて居られないぢやないか。その汗を流して手に入れたものを、だゝで他に上げるといふことは出來ない。貰ふ方の人から言つても、だゝ物を貰ふといふ道はなからう。』

（四枚目／四枚中）

斯う言ひ乍ら、自分は十錢銀貨一つ取出して、それを男の前に置いて、

『僕の家はかりやない、何處の家へ行つても左樣だらうと思ふんだ。たゞ呉れると言はれて、快く出すものは無い。是から君が東京迄も行かうといふのに、そんな方法で旅が出來るものか。だからさ、それを僕が君に忠告してやる。何か歌つて、踊つて、それから頼むといふ氣を起したらどうだね。』

『はい。』と男は額に手を宛てた。

『新たこと言つたら、珍な人だと君は思ふかも知れないが――』と自分は學生生活をしたらしい男の手を眺めて、『僕も君等の時代には、隨分困つたことがある――もちやもちやの、辛い目に出遇つたことがある。丁度君が今日の境遇を僕も通り越して來たのさ。さもなければ、君、誰が斯な忠告なぞをするものか。貧窮者の苦しい有樣を見ると、僕は大に同情を寄せる。まあ僕は実さたいやつな氣が起る。貧窮に苦しんで見たものでなければ、苦しんで居る人の心地は解らないからね。そこだ。もし君が僕の言ふことを聞く氣があるなら、一つ奮勵して通る覚悟になりたまへ。何か君は出來ることがあるだらう――まあ、歌を唄ふとか、御經を唱へることか、または尺八を吹くとかさ。』

『どうも是といふ譽は御座ませんが、尺八なら少許吹けねくつたことも――』と男は寂しそうに笑ひ乍ら答へた。

『ひゝ、尺八が吹けるね。それ見給へ、そういふ譽があるなら賣るが可いやないか。賣るべし。賣るべし。無くてさへ賣らうといふ今の世の中に、有つても隠して持つてるなんて、そんな君のやうな人があるものか。では、斯うするさ――僕が今、君に尺八を買ふだけの金を上げるから、粗末な竹でも何でもいゝ一本手に入れて、それを吹いて、それから旅をする、といふことにしたまへ――兎に角これだけあつたら暫つて呉れるだらう――それ十錢上げる。』

斯う言つて、そこに出した銀貨を男の手に握らせた。

『人の一生といふものは、君、どうなるか解らない。』と自分は男の顔を熟視り乍ら言つた。『これから將來、君がどんな出世をするかも知れない。僕がまた今日の君のやうに困らないとも限らない。まあ、君、左樣やないか。もし君が壯大な邸宅でも構へるといふ時代に、僕が困つて行くやうなことがあつたら、其時は君、宜敷く頼みますぜ。』

『くゝゝゝ。』②と男は苦笑ひをした。

『いゝかね。僕の言つたことを君は守らんければ不可よ。尺八を買はないうちに食つて了つては不可よ。』

『はい食べません、食べません――決して、食べません。』

と男は、言葉に力を入れて、堅く〳〵誓ふやうに答へた。

やがて男は元氣づいて出て行つた。施與といふことは珍なもので、施された人も幸福ではあらうが、施した人の方は何更心苦しい。自分は幾ばくか捉へて、說法を聞かせたとも氣付かなかつた。十錢呉れてやつた上に、助言もしてやつた。まあ、二つ惠んでやつた。と考へて、自分のしたことを二倍にして喜んだ。五月――清澄の五月――寂しい旅情は僅かに斯ういふことで慰められたのである。

しばらくして、水波の中から歸つて來た下女に聞くと、その男は自分の家を出る、直に一ぜんめしの看板をかけた飲食店へ入つたといふ。其時自分は男の言葉を思出して、『まだ朝飯も食べません』を繰返して笑つた。定めし男の方でも自分の言葉を思出して、『說法は誰有いが、朝飯の方が何誰有い』とかなんとか獨語を言ひ乍ら、其日の食糧にありついたことであらう。

問一　傍線部①「馴々敷い調子で言つた」のはなぜですか。「自分」の気持ちを説明しなさい。

問二　傍線部②「男は苦笑ひをした」のはなぜですか。「男」の気持ちを説明しなさい。

問三　島崎藤村について知っていることを述べなさい。

（この問題について解答用紙一枚を用い、縦書きにすること）

令和３（２０２１）年度
大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／外国人留学生選抜）入学者選抜試験問題
文化表現論専攻　比較文学専門分野　専門試験

［問題用紙は３枚です。］
（１枚目／３枚中）

1　以下の文章を読んで、問いに答えなさい。

出典は Patsy Stoneman, *Brontë Transformations: the Cultural Dissemination of Jane Eyre and Wuthering Heights* (London: Prentice Hall/Harvester Wheatsheaf, 1996), p.4, l.9-l.34 です。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。

'Roland Barthes'の引用の後、'Julia Kristeva'から'popular romance'までの段落を日本語に訳しなさい。Kristeva などの固有名詞は、英語表記のままで問題ありません。

2　下の文章を読んで、翻訳された詩の工夫や特徴について、原文の英語と比較しながら分析して論じなさい。出典は、西村真次『西詩の薫－英詩評釈』（参文舎, 1906）, pp.251-255 です。

## 夕の星に寄する歌

トマス、カムベル

星こそ蜂をその巣にかへし、
疲れたる人を休ましむれ。
星影もし平和の色を洩らさば、
そは天より汝に送りしなり。
星ひらめくや天の呼吸は、
われ等の戀人のに似て甘し。
星のゆたけき空に照るや、
地上の香かんばしくゆらぎ、
はるかなる獸の鳴聲きこゆ。
仕事終れる時歌聲小屋より聞ゆ、
その小屋の烟は動きもやらで、
日に映えて黄昏を捲く。
戀の星はうつゝの中に、
別れし戀人を逢はさしむ。
戀人のわなゝくちん誓約の、
紀念はみ空の上に在り。
そはいと雅びてあれば、胸より心の
抜出でたりとて裂かれはせじ。

## TO THE EVENING STAR.

*Thomas Campbell.*

Star that bringest home the bee,
And sett'st the weary labourer free!

If any star shed peace, 'tis thou,
That send'st it from above,
Appearing when Heaven's breath and brow,
Are sweet as her's we love.

Come to the luxuriant skies,
Whilst the landscape's odours rise,
Whilst far-off lowing herds are heard,
And songs, when toil is done,
From cottages whose smoke unstirred
Curls yellow in the sun.

Star of love's soft interviews,
Parted lovers on the muse:
Their remembrancer in Heaven
Of thrilling vows thou art,

Too delicious to be riven
By absence from the heart.

3　次の文章は、村野四郎の詩集『体操詩集』（アオイ書房、一九三九年一二月刊行）に収録された詩「体操」です。これを読んで、後の問いに答えなさい。（引用は、『名著復刻詩歌文学館　村野四郎『体操詩集』アオイ書房版』日本近代文学館、一九八〇年、六頁―七頁）

(1)　この詩集は詩に写真が並置されるというレイアウトを採用している。この詩における写真の効果について論じなさい。

(2)　この詩の表現上の特徴を、モダニズムとの関係に言及しながら具体的に論じなさい。

(3)　この詩集が一九三九年に刊行されたことにはどのような意味があると考えられるか、自分の考えを述べなさい。

(4)　文学・芸術作品におけるスポーツに関する表現とその問題点について、具体的な作品名を挙げながら論じなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。

令和３（２０２１）年度
大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／外国人留学生選抜）入学者選抜試験問題
文化表現論専攻　　英米文学専門分野　　専門試験

［問題用紙は４枚あります］
（１枚目/４枚中）

★ 一題ごとに別の解答用紙を用い、問題番号を記入すること。

１．次の英文を読んで、下の設問に答えなさい。

※ 問題文は、著者の著作権などに配慮し、省略します。
なお、出典は以下の通りです。

（１）下線部（イ）を日本語に訳しなさい。
（２）下線部（ロ）を日本語に訳しなさい。
（３）この文章全体における allegory をめぐる議論に対してどのように考えるか、その内容を要約しながら英語で論述しなさい。

【出典】Yanna B. Popova, *Stories, Meaning, and Experience: Narrativity and Enaction.* (Routledge, 2015). p. 138 l. 41～p. 140 l. 15.

2．次の英文を読んで、以下の設問に答えなさい。

※ 問題文は、著者の著作権などに配慮し、省略します。
なお、出典は以下の通りです。

(1) この物語の作者と作品名をそれぞれ英語で書きなさい。
(2) 下線部（イ）に関して、どのような説明がなされているか説明しなさい。
(3) 下線部（ロ）を日本語に訳しなさい。
(4) 下線部（ハ）を日本語に訳しなさい。

【出典】Daniel Defoe, *Moll Flanders* (New York: Oxford UP, 2007), p.7.

３．次の詩を読んで、以下の設問に答えなさい。

※ 問題文は、著者の著作権などに配慮し、省略します。
なお、出典は以下の通りです。

（１）Paraphrase the third quatrain in the style of modern English prose.
（２）What does the underlined "this" in the final line refer to?
（３）この詩において語り手(addresser)は聞き手(addressee)とどのような関係にあると考えられるか。日本語で説明しなさい。
（４）この詩の形式（form）について日本語で詳しく解説しなさい。

(Source) *The Complete Poems of Shakespeare*, ed. Cathy Shrank and Raphael Lyne (Routledge, 2018), p. 325, ll. 1-14.

４．次の日本語の文章を英語に訳しなさい。

※ 問題文は、著者の著作権などに配慮し、省略します。
なお、出典は以下の通りです。

【出典】金澤哲 編著.『アメリカ文学における「老い」の政治学』松籟社. p.12-l.15～p.13 l.4.

令和三（二〇二一）年度

大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／外国人留学生選抜）入学者選抜試験問題

文化表現論専攻　国語学専門分野　専門試験

［問題用紙は四枚です。］

（一枚目／四枚中）

一　次の文章を読み、後の問い（問一～問五）に答えなさい。（この問題について解答用紙一枚を用い、縦書きにすること）

伊勢・源氏などの物語は、文章こそめでたけれ、（A）記せることがらはあとなしごとにて、ささまことさらしさくまじり、史学にたすけ少なきを、この栄華物語は、文章のめでたきが上に、その世にありし事実をそのままに記して、読むにはばかるがごとくしも、をさをさなければ、これぞ国文教科書にはいとよき文なりける。さるを、（B）いままで世に行はれたるは、文字のあやまれる、落ちたるなども多く、また、させる注釈の書もなくて、巻の数さくあまたなりければ、（C）うひまなびの人々読みときかねて、さしおきがちなるを、小中村・関根の両氏、あかぬことに思ひ、こたび、この書の中のことにすぐれしよしあしをぬきいでて、（D）ねむごろに注釈の言葉をさくくはへ、教科書のまうけとはせられたり。かくてこそ、この文のめでたさも、ひとしはおさまりて見ゆれ。読み見む人々、かたくには文章をあきらめ、かたくには歴史を知りて、いはゆる（E）一挙両得の益あるべしと、よろこび思ふままを、かくなむ。

明治二十三年十二月のはつか

舞台のあるじ正風しるす

（小中村義象・関根正直標注『標注栄花物語抄』序による）

問一　傍線部（A）を現代語訳しなさい。

問二　傍線部（B）はどのようなことを述べているのか、説明しなさい。

問三　傍線部（C）「うひまなびの人々」とはどのような人々か、説明しなさい。

問四　傍線部（D）を現代語訳しなさい。

問五　傍線部（E）について、「一挙両得の益」とはどのようなことか、説明しなさい。

また、この文章に示されている考え方について、あなたの考えを述べなさい。

三　次に載せるものは、江戸語・東京語を地方出身者が習い覚えることについて述べたものであるが、これらを読んで後の問いに答えなさい。（原文の表記を一部改めてある）

（この問題について解答用紙一枚を用い、縦書きにすること）

①京都の女中の詞を真似てしるし度ことなれども、江戸の乙女にはやすからず。また京大坂の娘御方には、その詞の似せ損ないたるをよみうらくわらひ給はん。近来僕が綴りし人情本にて、当世の江戸詞を諸国の娘御達も大方はよみ覚えたまひし由なれば、拙なき筆に他国の方言をしるさず

為永春水「処女七種」第四序（一八三六）

②元来此少女の語は田舎語が其性質です、然し東京を慕って居る心は其語をも慕ひます、ですから東京の人に対すると自然東京語で話そうとします。但しお米の心の中で東京語の雛形となるものは教師某の語です、其故此少女の語は田舎娘と自然に違って餘り聞よくはありません、

嵯峨の屋御室「野末の菊」（一八八九）

③「大石さんにお目に掛りたいのだが。」

田舎から出て来た親一は、小説で読み覚えた東京詞を使ふのである。丁度不慣な外国語を使ふやうに、一語一語考へて見て口に出すのである。そして此返事の無難に出来たのが、心中で嬉しかつた。

森鷗外「青年」巻（一九一〇）

④風邪のあまり、その本州北端の一小都会に着いたとたんに少年の言葉つきまで一変してしまつてゐたほどでした。かねて少年雑誌で習ひ覚えてゐた東京弁を使ひました。

太宰治「津軽」序編（一九四四）

問一　右のうち③は東京が舞台であるが、江戸・東京ではない場所でも江戸語・東京語が使われるようになったのにはどのような経緯があったのか、知るところを述べなさい。

問二　小説等の創作物に使われる言語と共通語・標準語の関係について、歴史的経緯を中心に知るところを述べなさい。

問三　日本語の共通語・標準語の成立の過程について、右の資料にも適宜言及しながら、知るところを述べなさい。

三　次の問いに答えなさい。（この問題について解答用紙一枚を用い、縦書きにすること）

問一　次の各項について、知るところを述べなさい。

(1) 係り結び　(2) いろは歌　(3) モダリティ　(4) 音便
(5) 語種

問二　次の文章は、主に室町時代の言語を用いた演劇である「狂言」の台本を記録した『狂言三百番集』の本文の一部である（読みやすさのために、台詞ごとに改行を施し、振り仮名を添えるなど、表記を変えた部分がある。また《　》は小書きを表す）。武士である主人が、家来の太郎冠者（たろうかじゃ）、次郎冠者（じろうかじゃ）を呼び出して、二人に留守番を命じる場面である。よく読んで、後の設問に答えなさい。

附子（ぶす）

（主人）「この辺りの者で御座（ござ）る。今日は用事あつて山一つあなたへ参（まい）る。両人の者を呼出（よびだ）し、申附（もうしつ）けうと存（ぞん）ずる。《ようて。太郎冠者を呼出す。》又（また）次郎冠者を呼出すも。常の如し。》両人共（とも）呼出す別の事でない。今日は用事あつて山一つあなたへ行く。よう留守をせい。

（太郎冠者）「畏（かしこ）まつては御座れども。両人のうち一人はなう次郎冠者。

（次郎冠者）「おゝ。

二人「お共に参りませう。

（主人）「今日はさる子細あつて。両人とも供には連れぬ。さう心得（こころえ）。

（太郎冠者）「畏まつて御座る。

（主人）「暫（しばら）くそれに待て。

（太郎冠者）「はあ。

（主人）「さてこのあなたに附子（ぶす）が有（あ）る。さう心得。

（太郎冠者）「左様（そやう）ならば両人共。

二人「お供に参りませう。

（主人）「そちは何と聞いた。

（太郎冠者）「此のあなたに留守が有るとは仰せられぬか。

（主人）「いやそうではない。附子と云うて大の毒がある。あの方から吹く風にあたつても。滅却する程の大毒ぢや。さう心得。

（次郎冠者）「早速不審が御座る。それ程の大毒を。お前には何としてお持て扱ひなされぬ。

（主人）「それには苦しうない呪文が有る。

（太郎冠者）「これは。

二人「御尤もで御座る。

（野々村戒三・安藤常次郎校註『狂言三百番集』冨山房・一九三八年刊）

（注）○あなた：あちら側
○滅却する：死ぬ
○不審：分からないこと

(1)　太郎冠者と次郎冠者は、最初、主人の言うことを聞き間違えて誤解をした。どのような聞き間違いであったか、説明しなさい。

(2)　この時代の日本語は、現代共通語に共通する特徴と、現代共通語とは異なる特徴を持っている。文法または敬語について、どのような点が現代共通語と異なるか、文法全般と敬語とのそれぞれについて一点ずつ（合計二点を）指摘して説明しなさい。

令和３（２０２１）年度
大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／外国人留学生選抜）入学者選抜試験問題
文化表現論専攻　日本語学専門分野　専門試験

［1］次の文章を読んで，後の問いに日本語で答えなさい。

問題文は，著者の著作権等に配慮し，省略します。なお，出典は次のとおりです。
テレンス・オドリン(著)／丹下省吾(訳)『言語転移 ―言語学習における通言語的影響』
（リーベル出版,1995）pp.40-46

問１　下線部 (A)「外国なまり」とはどういうことか，本文に即して説明しなさい。

問２　下線部 (B)「対照分析」の例として，日本語と自身の母語に関して，具体的な言語現象を挙げて説明しなさい。

問３　下線部 (C) について，あなたが考えることを，自由に論じなさい。

［2］次の１０項目のなかから５項目を選んで，各項目５から１０行程度で，説明しなさい。

（1）計量語彙論
（2）専門語
（3）活用の観点に基づく動詞分類
（4）膠着語
（5）ウ音便
（6）類別語彙
（7）ことばのバリエーション
（8）接触場面
（9）伝達能力
(10) Goffman のフレーム

［3］あなたが今後研究しようとするテーマに関連するキーワードを５つ挙げ，それぞれについて，各項目５から１０行程度で，説明しなさい。

令和３（２０２１）年度
大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程/外国人留学生選抜）入学者選抜試験問題
文化表現論専攻　英語学専門分野　専門試験

[問題用紙は２枚あります。]
（１枚目／２枚中）

★一題ごとに別の解答用紙を用い、問題番号を記入すること。

I.
(A) 次の英文を読み、全文を日本語に訳しなさい。

問題文は著作権等に配慮して削除します。なお出典は以下の通りです。

[出典：Nomi Erteschik-Shir (2007) *Information Structure: The Syntax-Discourse Interface*. Oxford: Oxford University Press. p.1 l.1-l.16（一部省略）]

(B) 次の英文を読み、下線部を日本語に訳しなさい。

問題文は著作権等に配慮して削除します。なお出典は以下の通りです。

[出典：Laurence Horn (1984) 'Toward a new taxonomy for pragmatic inference: Q-based and R-based implicature.' In *Meaning, Form, and Use in Context: Linguistic Applications*. Deborah Schiffrin (ed.) Georgetown University Press, Washington, D.C. p.11, l. 6-l. 22（一部省略）]

II. 次の項目の中から5つ選び、簡潔に日本語で説明しなさい。

(a) Argument structure
(b) Scope
(c) Verb-island hypothesis
(d) Anaphora
(e) Complex NP
(f) Polarity sensitive items
(g) Scalar implicatures
(h) C-command
(i) Deixis
(j) Complementary distribution

III. 次の和文を英語に訳しなさい。

問題文は著作権等に配慮して削除します。なお出典は以下の通りです。

[出典:小林亜希子・吉田智行(2018) 『破格の構造』東京:朝倉書店. 1頁 8行～13行および2頁 12行～14行(一部省略)]

IV. 大学院入学後の研究計画について、英語で説明しなさい。字数制限はありません。

令和３（２０２１）年度

大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／外国人留学生選抜）入学者選抜試験問題

文化表現論専攻　美学・文芸学専門分野　（美学受験分野）　専門試験

［問題用紙は２枚です。］

（１枚目/２枚中）

以下すべての問いに日本語で答えなさい。

問１　哲学の一分野としての美学は「美」以外にも様々な問題について論じてきました。そこで、美学が論じてきた「美」以外の問題をひとつ取り上げて、何が問題となってきたのかについて解説しなさい。解答にあたっては、自分の研究にかかわりの深い美学の問題を取り上げて、取り上げた問題をどう論じていきたいかについて、最後に言及しなさい。解答の文章の長さは問いません。

（配点 75 点）

問２　別紙の文章は、Yuriko Saito, *Everyday Aesthetics* (Oxford University Press, 2010), 206-211. の文章の一部を抜き出したものです。この文章から読みとられる著者の考えを解説したうえで、具体例を出しながら、あなたの考えを述べなさい。解答の文章の長さは問いません。

（配点 75 点）

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。

令和３（２０２１）年度

大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／外国人留学生選抜）入学者選抜試験問題

文化表現論専攻　美学・文芸学　専門分野（文芸学 受験分野）専門試験

〔問題用紙は３枚です。〕

（１枚目／３枚中）

問１　以下の用語のうち３つを選び、それぞれ 100 字程度で説明しなさい。[配点 30 点]

１）英雄神話　　２）五時代説話

３）叙事詩　　４）書簡体文学

５）アリストテレス『詩学』　　６）ホラティウス『詩論』

問２　別紙１で示した英文は、Carol J. Adams, *The Sexual Politics of Meat - 25th Anniversary Edition: A Feminist-Vegetarian Critical Theory*, Bloomsbury Academic, 2015 (Kindle 版)の CHAPTER 6 : FRANKENSTEIN'S VEGETARIAN MONSTER からの一節である（p. 100, l. 47-62 – p. 101, l. 1-25）である。この英文を日本語に訳しなさい。〔配点 60 点〕

問３　別紙２で示した文章は、ウォルター・J・オング（著）、桜井直文・林正寛・糟谷啓介（訳）『声の文化と文字の文化』藤原書店、1991 年からの一節である（p. 284, l. 2 – p. 286, l. 3）。この別紙２の文章と適宜関連させて、あなたが研究対象としている文学作品や文化について、その研究をどのように進めていくべきかについて 400 字程度で具体的に論じなさい。〔配点 60 点〕

（引用文は著作権に配慮して省略します。）

令和３（２０２１）年度
大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／外国人留学生選抜）入学者選抜試験問題
文化表現論専攻　音楽学・演劇学専門分野　（音楽学受験分野）専門試験
〔問題用紙は３枚あります〕
（１枚目/３枚中）

問１　次の文章で論じられている「ソナタ形式」と「ロンド形式」の対比について、あなたの関心のある音楽ジャンルに置き換えて論じてください。（解答としては、このような形式の対比のないジャンルであれば何故ないと言えるかを、またモーツァルトに関心があるなら「ソナタ形式」と「ロンド形式」のそれぞれの例を挙げてここに書かれている対比が見られるかどうかを論じる、というようなものが考えられます。）
なお、冒頭の「この協奏曲」とはモーツァルトのピアノ協奏曲第 27 番 KV.595 のことです。［配点 50 点］［出典：岡田暁生『モーツァルト』ちくまプリマー新書、2020 年、p.206, l.6-p.208, l.13］

引用文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。

問２　複数の参考文献（日本語以外の言語で書かれた文献一つ以上を含む）をあげながら、自分の研究テーマについて説明しなさい。[配点 50 点]

問３　以下の文章を日本語で要約したうえで、あなたの研究テーマと関連させて論じなさい。［配点 50 点］［出典：Jocelyne Guilbault, "On Redefining the 'Local' Through World Music," *The World of Music*, 1993, Vol. 35, No. 2, p. 37, l.10-l. 28］

引用文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。

令和３（２０２１）年度
大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／外国人留学生選抜）入学者選抜試験問題
文化表現論専攻　音楽学・演劇学専門分野　（演劇学受験分野）　専門試験

［問題用紙は２枚です。］
（１枚目／２枚中）

※解答はすべて日本語で記述すること。ただし固有名詞は原語でも構わない。

問１　次の６つの項目全てについて、それぞれ100字程度で説明しなさい。

1）秘すれば花　　2）隈取　　3）三人遣い
4）イプセン　　5）ベルリーナ・アンサンブル　　6）『ゴドーを待ちながら』

問２　問題用紙２枚目の英文は、 Stefan Hulfeld, "Modernist theatre," David Wiles and Christine Dymkowski (eds.), *The Cambridge Companion to Theatre History*, Cambridge, 2013, p.24,l.28-p.25,l.22 です。この文章を読んで以下の設問に答えなさい。

設問１）この文章の中で、Adolphe Appia の試みようとしたことはどのようなことだと説明されていますか。この文章に即して答えなさい。

設問２）この文章の中で、いわゆる演出家の職能については、どのようなものだと説明されていますか。この文章に即して答えなさい。

設問３）この文章の中で、引用箇所（A）の全文を日本語に訳しなさい。

設問４）またこの引用箇所（A）のような考え方はその後の演劇史の中でどのような展開を見せていくのか、説明しなさい。

問３　日本の戦後演劇の傾向の一つについて、次の語をすべて使って説明しなさい。
久保栄、千田是也、劇団民藝、モスクワ芸術座、ベルトルト・ブレヒト

問４　演劇における批評の意義について、あなたの考えを述べなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

Stefan Hulfeld, "Modernist theatre," David Wiles and Christine Dymkowski (eds.), *The Cambridge Companion to Theatre History*, Cambridge, 2013, p.24,l.28-p.25,l.22

令和３（２０２１）年度

大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／外国人留学生選抜）入学者選抜試験問題

文化表現論専攻　美術史学専門分野　（西洋美術史受験分野）　専門試験

［問題用紙は１枚です。］

（１枚目/1 枚中）

問１　以下の 10 項目について簡潔に説明しなさい。

1) ランブール兄弟　2) Andrea Palladio　3) Gerard ter Borch　4) Honoré Daumier　5) ゼウクシス　6) Pierre Bourdieu　7) エッチング　8) William Hogarth　9) Gian Lorenzo Bernini　10) Otto Wagner

問２　下記の英語を日本語に訳しなさい。　（著作権に配慮して引用文は省略します）

（出典 Ch.Rosen & Henri Zerner, *Romanticism and Realism*. London 1984, p.51）